

(1)北九州市(2008)「門司港レトロ観光まちづくりプラン」

<https://www.city.kitakyushu.lg.jp/files/000027773.pdf>(最終閲覧：2023年11月9日)

(2)門司港レトロ公式HP. <https://mojiko-retoro9.jp/> (最終閲覧：2023年11月9日)

## 7.特急踊り子

### 1.はじめに

本会では、秋の研究旅行として10月28日(土)に伊豆方面へと足を運んだ。その旅路の中で乗車した特急「踊り子」および特急「サフィール踊り子」を次節にかけて紹介する。まず本節では、実際に「踊り子」に乗車して感じられた点を報告する。それに先立ち、今回の旅行に快くお金を出してくださったOB・OGの方々には感謝申し上げたい。



伊豆急下田駅構内で留置中のE257系2000番台(10月28日 本人撮影)

### 2.運行形態

都心と伊豆方面を結ぶ特急列車で、伊豆急行線に乗り入れて東京ー伊豆急下田を走る系統(えきねっと等では「伊東編成」として案内)と、伊豆箱根鉄道駿豆線に乗り入れて東京ー修善寺を走る系統(えきねっと等では「修善寺編成」として案内)に分かれる。修善寺を発着する列車は全て、東京ー熱海間で下田発着列車に併結して走り、下田発着の列車と号数を同じくする。定期列車は下田発着が4往復、修善寺発着が2往復あるが、毎土休日には下田発着便・修善寺発着便、さらに池袋ー伊豆急下田を走る列車が増便される他、繁忙期にはさらなる増発がなされる。例として、2023年の9月20日から11月末までの時刻表は以下の通りである。

伊豆方面特急列車主要駅時刻表（下り） 2023年9月20日～11月30日運転分

列車名	東京発	池袋発	新宿発	渋谷発	品川発	川崎発	横浜発	大船発	小田原発	湯河原発	熱海発	伊東発	伊豆高原発	伊豆熱川発	伊豆箱根発	河津発	伊豆急下田発	三島発	伊豆長岡発	修善寺発	記事（運転日）
踊り子 1号	-	-	8:30	8:36	-	(武蔵小杉9:49)	9:03	→	→	→	9:56	10:16	10:37	10:50	10:57	11:02	11:16	-	-	-	10/7・8・11/3・5運転
踊り子 3号	9:00	-	-	-	9:08	9:16	9:24	9:37	10:01	10:13	10:20	10:44	11:06	11:16	11:23	11:29	11:40	-	-	-	毎日運転
踊り子 5号	-	9:14	9:25	9:30	-	(武蔵小杉9:45)	9:59	→	→	→	10:55	11:18	11:35	11:46	11:53	11:58	12:12	-	-	-	9/29-11/28の土曜・休日運転
踊り子 5.5号	9:30	-	-	-	9:38	→	9:59	→	→	→	10:55	11:18	11:35	11:46	11:53	11:58	12:12	-	-	-	11/24運転
踊り子 7号	10:00	-	-	-	10:08	10:16	10:24	10:37	11:01	11:14	11:20	11:46	12:04	12:13	12:20	12:27	12:39	-	-	-	毎日運転
踊り子 9号	10:30	-	-	-	10:38	10:46	10:54	11:07	11:31	11:44	11:51	12:13	12:40	12:54	13:04	13:10	13:24	-	-	-	9/29-11/28の土曜・休日運転
サフィール踊り子 1号	11:00	-	-	-	11:08	→	11:24	→	→	→	12:17	12:36	12:55	13:05	13:12	13:18	13:29	-	-	-	毎日運転
踊り子 11号	11:30	-	-	-	11:38	11:46	11:54	12:07	12:30	12:43	12:49	13:16	13:41	13:53	14:00	14:05	14:17	-	-	-	10/7-8・11/9-6・11・12・18・19・25・29運転
踊り子 13号	12:00	-	-	-	12:08	12:16	12:24	12:37	13:00	13:13	13:20	13:46	14:09	14:18	14:25	14:31	14:42	-	-	-	毎日運転
サフィール踊り子 3号	12:30	-	-	-	12:38	→	12:58	→	→	→	13:51	14:16	14:47	15:02	15:12	15:18	15:31	-	-	-	9/21・22・25・29・30 10/2・8・10・12・18・19・26・29・30・31 11/2・8・9・10・12・18・19・20-22・24・27・30 運転
サフィール踊り子 5号	-	-	12:25	12:30	-	(武蔵小杉12:44)	12:58	→	→	→	13:51	14:16	14:47	15:02	15:12	15:18	15:31	-	-	-	9/29-11/28の土曜・休日運転
踊り子 15号	13:00	-	-	-	13:08	13:16	13:24	13:37	14:00	14:13	14:20	14:41	15:07	15:19	15:27	15:32	15:43	-	-	-	毎日運転

伊豆方面特急列車主要駅時刻表（上り） 2023年9月20日～11月30日運転分

列車名	修善寺発	伊豆長岡発	三島発	伊豆急下田発	河津発	伊豆箱根発	伊豆熱川発	伊豆高原発	伊東発	熱海発	湯河原発	小田原発	大船発	横浜発	川崎発	品川発	渋谷発	新宿発	池袋発	東京発	記事（運転日）
踊り子 4号	-	-	-	10:09	10:20	10:25	10:32	10:42	11:08	11:30	11:35	11:47	12:10	12:23	12:32	12:41	-	-	-	12:49	毎日運転
踊り子 6号	-	-	-	11:32	11:47	11:54	12:02	12:18	12:37	13:01	13:06	13:18	13:44	13:56	14:04	14:12	-	-	-	14:19	10/7・8・11/3・5運転
踊り子 8号	-	-	-	12:05	12:17	12:26	12:36	12:46	13:05	13:32	13:37	13:49	14:13	14:25	14:34	14:42	-	-	-	14:49	毎日運転
踊り子 10号	-	-	-	13:02	13:18	13:24	13:33	13:44	14:05	14:30	14:35	14:48	15:13	15:26	15:34	15:42	-	-	-	15:49	毎日運転
踊り子 12号	-	-	-	13:42	13:53	14:00	14:08	14:21	14:41	15:08	15:14	15:26	15:53	16:06	16:14	16:22	-	-	-	16:30	9/29-11/28の土曜・休日運転
サフィール踊り子 2号	-	-	-	14:18	14:31	14:36	14:44	14:53	15:10	15:31	→	→	→	16:27	→	16:42	-	-	-	16:49	毎日運転
踊り子 14号	-	-	-	14:34	14:48	14:54	15:02	15:13	15:31	16:00	16:05	16:18	16:44	16:56	17:04	17:12	-	-	-	17:19	10/7-8・11/9-6・11・12・18・19・25・29運転
踊り子 16号	-	-	-	15:08	15:21	15:27	15:34	15:46	16:02	16:29	16:34	16:47	17:13	17:26	17:34	17:42	-	-	-	17:49	毎日運転
踊り子 18号	-	-	-	16:01	16:14	16:19	16:27	16:38	17:05	17:27	→	→	→	18:24	(武蔵小杉18:36)	-	18:52	18:58	19:05	-	9/29-11/28の土曜・休日運転
踊り子 5.8号	-	-	-	16:01	16:14	16:19	16:27	16:38	17:05	17:27	→	→	→	18:24	→	18:42	-	-	-	18:49	11/24運転
サフィール踊り子 4号	-	-	-	16:39	16:52	16:57	17:06	17:15	17:35	18:00	→	→	→	18:56	→	19:11	-	-	-	19:19	9/21-25・29-30 10/1・2・6-10・12-18・19-21・23-29-30 11/2-8・9-13・16-22・30 運転

伊豆方面特急列車主要駅時刻表（JR 東日本横浜支社 特急「踊り子」公式 HP より）

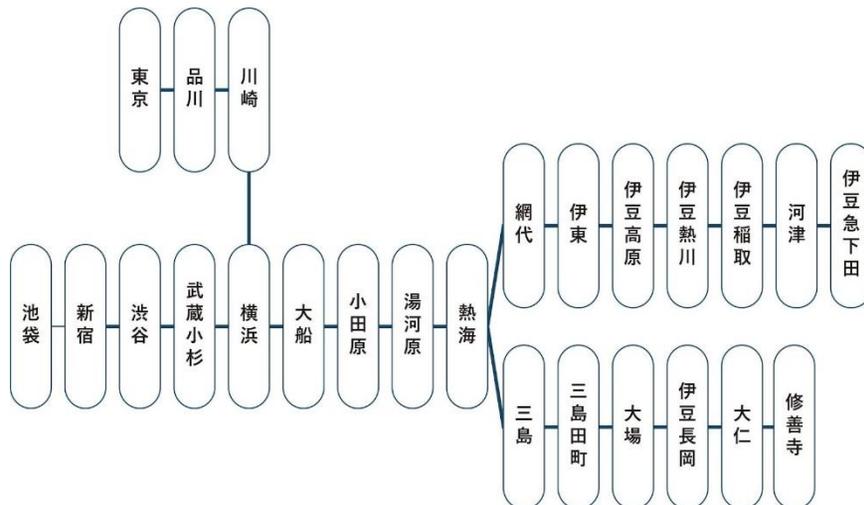
東京ー下田間が約2時間30分、東京ー修善寺が約2時間となっており、おおよそ熱海付近が時間的な中間地点となっている。より早く移動するために、都心からは新幹線で熱海や三島まで向かい、そこから先で踊り子を用いるという使い方も考えられるだろう。

185系時代は池袋からの延長で大宮発着、東京からの延長で我孫子発着の臨時列車が存在していたが、現在は踊り子号としての運行はなくなった（※注1）。

※注1 現在でも、下田水仙まつり号等の臨時列車としては稀に運行される。

### 3.停車駅・沿線概況

停車駅は下図のように、都心から小田原までは主要乗換駅、そこから先は主に新幹線停車駅および有名観光地の最寄駅に止まっている。網代は2往復4列車のみが停車する以外は通過となっているが、これを除けば停車駅は固定化されている。ところで両系統とも会社線内での停車駅の多さが目立つが、これは各所に観光地が遍在していることの表れだろう。



停車駅（JR東日本横浜支社 特急「踊り子」公式HPより）

小田原（箱根湯本温泉へも）、湯河原、熱海、網代、伊東、伊豆高原、伊豆熱川（熱川温泉、北川温泉へも）、伊豆稲取（稲取温泉）、河津（河津郷温泉）、伊豆急下田（下田温泉、下賀茂温泉・弓ヶ浜温泉へも）、伊豆長岡、大仁、修善寺のように、ほとんど全ての停車駅が温泉地の玄関となっている。また、伊豆半島に話を限っても、春は河津を中心とした桜の名所があり、夏は白浜海岸などの海水浴場があり、秋は修善寺などの紅葉の名所があり、冬は伊豆高原の冬景色が見られるなど、1年を通していつでも楽しめるという点こそ、通年で観光需要が途絶えない大きな理由だろう。他にも伊豆長岡の韮山反射炉や下田の黒船来航などといった歴史的観光地も沿線にある。

こうしたことから、本章第1節で述べた通り、踊り子が観光地への輸送が主目的である列車だということが分かる。とはいえ、小田原以西で見られる海側の景色は絶景であり、貴重な乗車体験ができる場として機能していることも確かである。

#### 4.車両

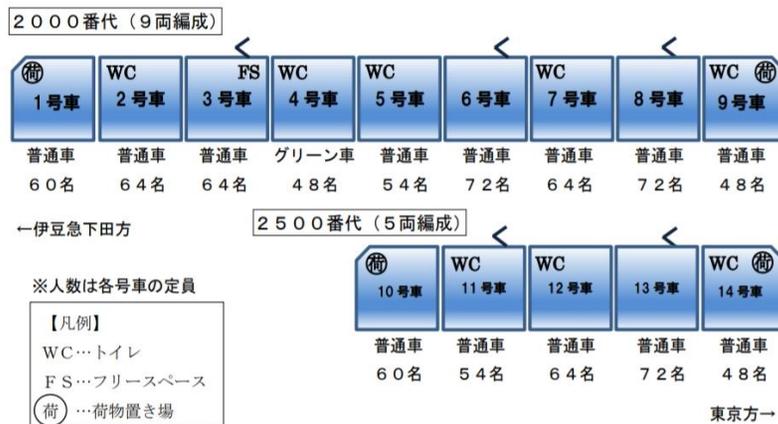
数年前まで国鉄型の185系で運行されていた踊り子だが、同系の老朽化に伴って徐々にE257系への置き換えが進み、コロナ禍下の2021年3月のダイヤ改正で置き換えが完了した。2020年に同じく老朽化で引退した251系（スーパービュー踊り子用特急列車）の一部を置き換えた分も含め、2023年現在、E257系は踊り子の全列車の運用に充てられている。

踊り子に使用されているE257系は、9両編成の2000番台および5両編成の2500番台の2種類あるが、見た目には大きな違いはほとんど無い。内外装ともに伊豆らしさを出した色を採用しており、外装は伊豆の海や空をイメージした「ペニンシュラブルー」を基調とし、内装も同様な青色が用いられている。普通車は「スタンダードでありながら奥行き感のある現代的な空間」、グリーン車は「リッチで高品質感のある現代的な空間」を目指したデザインになっているとのことだ。その一環としてであろうか、窓側の座席には全席コンセントが完備されている。また、各先頭車には荷物置き場が設けられており、スーツケースなどの大きな荷物が置けるようになっている。

2000番台は、中央本線（「あずさ」「かいじ」など）で活躍していた武田菱の0番台を改造したものであり、伊豆急下田を発着する基本編成となっている。伊豆急下田方から1号車であり、東京方の9

号車まで続く。1号車は非貫通扉で、9号車は貫通扉だが、両先頭車とも前面にLED行先表示器が付いている。全車指定席で自由席は無く、グリーン車は4号車の1両で全48席、普通車は残りの8両で全498席ある。3号車には机と腰掛けが置かれたフリースペースがあり、大きな窓から車窓を楽しみながら広々とくつろげる場所となっている。トイレは5箇所があり、その内の5号車のものはバリアフリーに対応している。

一方の2500番台は、房総方面（「さざなみ」「しおさい」など）で使用されていた500番台を改造したもので、こちらは付属編成として修善寺を発着する3・8・13・16号のみに用いられている。基本編成の東京方に連結し、修善寺方の10号車から東京方の14号車まで続く。こちらは全車普通車指定席で定員は298名となっている。トイレは3箇所があり、11号車のものがバリアフリー化してある。10号車および14号車の両先頭車とも貫通扉となっているが、連結時の9号車と10号車間の往来はできない。



E257系2000番台・2500番台の編成図 (JR東日本ニュースより)

## 5.乗車記録

下り伊東編成

乗車日：2023年10月28日(土)

乗車列車：踊り子15号 伊豆急下田行

乗車区間：大船(1337)→伊東(1441)

座席場所：6号車10番D(普通車)

料金：920円(チケットレス)

本来ならば部の旅行に組み込まれていた修善寺行きに乗る予定だったが、恥ずべきことに大寝坊してしまい、追いかける形で伊豆半島へと向かうこととなった。

時刻的に都合のよかったのが当列車だったのだが、土曜日の下り最終踊り子ということもあってか、特急券を購入しようとした13時頃には既に満席に近い状態であった。特に海側のA席およびB席が横並びで空いている席が全く無く、隣に人が乗車しないことを優先させて山側のD席で妥協した。なおこの列車は始発の東京駅を13時ちょうどに発車しているため、購入時点で始発駅発車後だったという

ことになる。このことから、都内の駅から多くの客が乗車していた、あるいは多くの客が事前に座席指定していたことが窺えるだろう。

当時、午前中に発生した宇都宮線内で信号確認による遅延が、直通先の東海道線にも波及していた。踊り子の先を行く、高崎始発の上野東京ライン小田原行も10分程度遅れていた（※注2）ため、踊り子も5分程度遅れての入線となった。ホーム上を見渡す限り、大船駅から乗車する客はかなり少なく、数えられる程度であった。比較的高齢な方が数名乗っていたように思われる。

※注2 先行列車は大船所定13:29発のところ、実際には13:40頃に発車した。



大船駅3番線に入線する踊り子15号（10月28日 本人撮影）

大船を発車してしばらくは加速したが、すぐに先行の普通小田原行に追い付いてノロノロ運転となった。しかしその列車を平塚で追い越すと、再び加速を開始して快走するようになった。だが国府津を過ぎたあたりで、さらにその前を走る普通熱海行に追い付き、小田原までそのままゆっくりと走った。小田原に到着すると、乗っていた号車で乗客が数名入れ替わった。編成全体では20~30名程度の乗降があったのだろうか。主観的にはほとんどの乗客がそのまま乗車していたように思われた。都内方面から小田原や箱根に向かう人が降りたとともに、都内から新幹線に乗ってきた人や相模線・小田急線沿線から来た人が乗車したのだろう。

国府津あたりから所々で進行方向左手に海が見えていたが、小田原を出ると太平洋を見渡せる機会がさらに増えてきた。特に根府川では視界が一気に開け、相模湾がよく見えた。海側の座席が埋まっているのも納得の絶景である。しばらくして湯河原の到着案内が流れた。降りる準備をする方は少なく、小田原と同程度の降車量だと思われた。しかしドアが開くと、目的地に到着したことにやっと気付いたのか、慌ただしく降りていった4名の若者女性グループが記憶に残っている。踊り子の主目的は伊豆への観光客輸送だが、湯河原温泉への輸送も担っていることに気付かされる一場面であった。

湯河原を出発するとすぐに静岡県に入り、長い泉越トンネルを抜けると熱海の街並みが現れてきた。熱海に着くと、車内の2~3割が降りていった。ついに“伊豆への輸送”を実感できる区間に入ってきた。熱海では始発の普通伊豆急下田行および浜松行に接続を取る。熱海で改札を出る方が多いだろうが、伊東線の各通過駅や東海道線の三島・静岡方面へ向かう方も一定数いただろう。新幹線からの乗り換え客がいるかと思われたが、少なくとも6号車に乗車してくる者はいなかった。

熱海を出ると、トンネルと海が交互に見える。伊東線内はほぼ各駅で対向列車と交換するために運転停車する。そのため、線形の良さの割にあまり速度を出さず、加速と減速を繰り返すような走りだっ

た。宇佐美を通過して国道 135 号と並走し始めると、一面に海が広がって各所からシャッター音が聞こえてきた。間もなくして伊東到着の案内放送が流れると、かなりの人が降車の準備を始めた。到着すると 50~60 名近くがホームに降り立ち、後続の普通への乗り換え待ちする人と改札へ向かう人とは分かれた。

結局最後まで遅延は続いたものの、乗客が不満を感じている様子はなかった。目的地を想像しながら友人との会話を楽しんでいたのだろうか、常に多方面から談笑が聞こえてきたのである。彼らはただ旅先に向かっているだけで、「踊り子」に乗ること自体が目的の方はいなかったかもしれない。しかし、踊り子という列車が至福な時間・空間を創り出していたのは事実であり、楽しい旅の一部だと（少なくとも無意識的には）捉えられていたはずだ。

最後に客層について触れる。乗車前は外国人が多いだろうと考えていたが、その想像に反してほぼ全員が日本人であった。シーズンの外国人が少なかったのかもしれないが、意外であった。出張と思われるスーツ姿の方も数名見受けられたが、乗客の 95%ほどは観光客だった。2 人組や 4 人グループが多く、1 人で旅している方はあまりいなかった。また、家族旅行よりも同世代の友人との旅行である場合が多く、中でも女子旅が大きな割合を占めていたように感じられ、その次に高齢の方同士での旅行が多かったように思える。席がゆったりとしていることを活かして、おつまみと共にお酒を嗜んでいるグループもあった。

## 6.まとめ

踊り子が担っている基本的な役割は、人口の多い東京や横浜から数多くの観光地がある伊豆へと観光客を輸送することである。実際、湯河原以西での停車する各駅には有名温泉地を筆頭に魅力的な場所がたくさんあり、観光地が均等に存在することが分かる。しかし、それと同時に踊り子に乗ることも貴重な体験となるのである。185 系時代の踊り子は、単に乗客を輸送することだけが目的だけだったかもしれない。だがリニューアルされた E257 系の登場が、踊り子自体に乗車価値をもたらすことに繋がり、踊り子を観光列車たらしめた。JR 特急の中でも乗り心地の良さが評価されていた E257 系だが、踊り子・湘南用への改造を通じ、それまで以上に居心地のよい空間を作り出しているように感じられた。綺麗な海の風景を見ながら、一緒に旅をしている人とのトキを楽しめる空間。これこそ、今の踊り子がくれるものなのである。

(1 年 岡野)

## 7.参考文献

JR 東日本横浜支社, 「特急「踊り子」 - JR で行く、伊豆の旅行 - JR 東日本」, JR 東日本,

<https://www.jreast.co.jp/yokohama/izu/train/odoriko.html>, (2023-11-08 参照)

JR 東日本横浜支社(2023), 「伊豆方面特急列車主要駅時刻表 2023年9月20日~11月30日運転分」, JR 東日本,

[https://www.jreast.co.jp/yokohama/izu/train/pdf/express\\_timetable\\_izu\\_doc.pdf](https://www.jreast.co.jp/yokohama/izu/train/pdf/express_timetable_izu_doc.pdf), (2023-11-08 参照)

JR 東日本横浜支社(2019), 「JR 東日本ニュース『特急「踊り子」にリニューアル車両を順次投入します』」, JR 東日本, [https://www.jreast.co.jp/press/2019/yokohama/20191128\\_yO1.pdf](https://www.jreast.co.jp/press/2019/yokohama/20191128_yO1.pdf), (2023-11-08 参照)